

北横岳(2480m) & 縞枯山

(2403m)山行報告

【山行日】 2017年 1月 7日(土) 快晴

【集 合】 岩舟支所P AM 5:30

【費 用】 マイカー1台 : 5,400円

【メンバー】 CL:鈴木ユ 石川、伊藤、岩淵、
香川、津佐

【コースタイム】岩舟支所 P5:30=八ヶ岳 RW 山麓駅

8:20/9:00+++山頂駅 9:10/9:20~北横岳ヒュッテ

10:00~北横岳南峰 10:10~北峰 10:20/10:30~

北横岳ヒュッテ 10:45/11:00~雨池峠 11:55/12:15~

縞枯山 13:00~展望台 13:10~五辻 13:30~山頂駅 14:15/14:20+++山麓駅 14:30/14:50=岩舟支所 P17:30

今年最初の3連休は、北アルプス燕岳を計画したが、合戦尾根を登る8日が荒天の予報。

我々の実力では、荒天の合戦尾根を登るのは危険と判断し、北横岳から縞枯山の日帰り山行に変更した。



岩舟支所を5時30分に出発し、高速道を乗り継ぎ佐久南ICで降りR142を進む。立科町で県道諏訪白樺湖・小諸線に進み、山道になるが雪はほとんど無く予定より早くロープウェイ山麓駅に着いた。支度を整えトイレを済ませると、チケット販売開始のアナウンスがありチケットを購入する。ネットで割引券を印刷してきたお蔭で、200円安く購入できた。乗車口に並び9時発の始発ゴンドラに乗車する。ロープウェイ山頂駅に着き、ストレッチを済ませ出発する。天気は快晴で、風も無く絶好の雪山登山日和に恵まれた。雪は少なく良く締まっていた歩き易いが、急坂は滑るので坪庭の途中にある第二休憩

所でアイゼンを付けることにした。アイゼンを付けると締まった雪に良く効き、快調に登ることが出来た。

坪庭の北側末端から樹林帯の登山道になるが、シラビソの枝には全く雪が無かった。急な登山道を登ると稜線のT字路に出て、左折するとシラビソ林に囲まれた北横岳ヒュッテに着く。ヒュッテ前のベンチで休憩し、バームクーヘンやミカンでエネルギーを補給する。ヒュッテから急登をすると樹林帯を抜け、横岳山頂に着く。山頂からの眺望は素晴らしく、南八の峰々や蓼科山、霧ヶ峰から北アルプスまで一望できる。記念写真を撮り、ゆっくりと360度の大展望を楽しむ。ここから北側に少し行くと7.5m高い北峰があるので往復する。北峰から来た道に戻り、北横岳ヒュッテで大休止。女性はアイゼンを外し、トイレを済ませる。ここから来た道に戻り縞枯山荘へ向かうが、登山者が大勢登って来るのですれ違いに時間が掛かる。スノーシューを付けたパーティーが登って来たが、雪が少なく踏み固められているので歩きにくそうだった。



坪庭まで戻ると登山者は少なくなり、分岐を左に縞枯山荘へ向かう。急坂を少し下ると山頂駅からの道に合



流し、左折して雨池峠方面に緩やかに下ると、広々とした八丁平らに三角屋根の縞枯山荘がある。山荘前を通りほんの少し登ると雨池峠に着く。峠でランチタイムとするが、風があるので左に少し登った所で食べることにする。

お湯を沸かし、カップ麺やスープ等各々持参した昼食をいただいた。昼食後、雨池峠から縞枯山へ向かって最後の急登が始まる。一步一步アイゼンを効かせて登って行くが、I 淵さんが少しずつ遅れて行く。シラビソの暗い樹林帯の登りは楽しくなく、I 淵さんが辛そうなのでI 藤さんが手を差し伸べてくれ何とか山

頂へ着いた。縞枯山の山頂は細長く、何処が山頂かはっきりしない。展望が良い所でゆっくり休憩し、余裕がある人は展望台まで足を延ばす。茶臼山への鞍部まで下り、標識がある分岐を右折し五辻へ向かう。

五辻への道もしっかりしたトレースがあり、20分くらいで五辻に着く。ここからは縞枯山の西側を巻いて行く道で、急斜面が無いのでアイゼンを外して歩くことにする。左手に霧ヶ峰や茅野市街を見ながら、緩やかなアップダウンを繰り返して歩き、山頂駅に着いた。山頂駅に着くと、5分後に下りのロープウェイが出るとのアナウンスがあり乗車口に並ぶ。7分間の空中遊泳を楽しみ、山麓駅に着く。駅前のベンチで靴を履きかえ、残ったリンゴや菓子を食べて疲れを癒し帰路につく。雪が少なく「雪山～～」という感動は得られなかったが、好天に恵まれ山頂からの眺望は素晴らしく満足ゆく雪山トレーニングとなった。

